



大阪北ブロック 新北支部

WalkOn<ウォーク・オン> (株) 赤井 幸智

～国内最大級の大型複合施設～『EXPOCITY』

2015年11月に1970年に開催された日本万国博覧会後にできた遊園地施設エキスポランドの跡地に「EXPOCITY」が誕生しました。45年前の「EXPO'70」当時の賑わいを彷彿させることをテーマに8つの体験型エンターテインメント施設と全305店舗からなるショッピング施設の融合で、国内だけでなく海外からも人々が集い交流する大型複合施設です。

見どころは“触れる”がテーマの展示施設「NIFREL（ニフレル）」と2016年7月にオープンした日本一の大観覧車「REDHORSE OSAKA WHEEL」。

「NIFREL」は単に生き物に触れるだけではなく、“感性に触れる”というコンセプトで展示室内は部屋全体が赤・黄・青など7色に移り変わり、音楽、映像、照明を巧みに融合した水族館と美術館のアート施設になっています。

「REDHORSE OSAKA WHEEL」は“日本一の高さ”と“シースルーゴンドラ”の観覧車であり、免震構造やゴンドラ内のタブレット設置・空調完備といった最新設備が導入されています。

飲食店も「EXPO'70」のメニューを復元した「万博食堂」や世界の料理がバイキングできる店、さらに待ち時間が長い場合は順番がくると携帯にメールしてくれる店もあり、かなり充実しています。

～日本初の寄付金でつくったスタジアム～『市立吹田サッカースタジアム』

みんなの寄付金で140億円を募集するという日本初の試みでつくったサッカー専用のスタジアムで収容人数は40,000人。それまで使用していた万博記念公園陸上競技場の21,000人とくらべるとほぼ倍になっています。

陸上競技用トラックをもたないスタジアムとしては「さいたま」、「豊田」、「カシマ」に次ぐものですが最大の特徴はなんといっても観客とピッチ（競技フィールド）との距離が40,000万人のスタジアムとしては国内で最も近い7メートルという点です。選手と観客との距離が近いことでよりピッチに近い状態で観戦できることからより高い臨場感を味わうことができます。この7メートルという距離はFIFA（国際サッカー連盟）の規定では8.5メートルとされていますが直接掛け合せて許可を得たという裏話もあります。



メインゲート



ピッチと観客席

「EXPOCITY」も「ガンバスタジアム」も吹田市にあるのですが公共機関でのアクセスはJR茨木駅が最寄りの駅となっています。私の場合、自宅が茨木ですので自転車でいけるほど近くにありますが「EXPOCITY」については週末になるといまだに混んでいますがそれだけ1日では回り切れないほど魅力的な施設と店舗があると思います。

“いま、熱い吹田市”をご家族や友人を連れて一度訪れてみませんか。